



協会活動状況

(特別の記載のないものは、すべて会場は事務所において。)

●昭和五十七年三月二十七日(土)

常任理事会

出席者 八木、新妻、大山、狩野、加藤、滝口、長谷川。

議題

理事会提出議題の内容について協議

●三月二十七日(土)

第八十六回理事会

出席者 八木、新妻、大山、狩野、加藤、滝口、長谷川、赤嶋、門村、斉藤、新庄、広井。

議題

一、五十六年度収支決算について

二、給与規定の一部改正、就業規定の制定、業務決裁規定の制定について

三、理事会推せん役員候補者について

四、新入会員の承認について

五、その他

●四月五日(月)

役員改選にともなう立候補届出の締切日。すでに届出があつた十名をもって締切りとなつた。

●四月十四日

「土幌然別湖線環境調査」が三年間を要して終了したので、道の道路課が主催し、懇親会が開かれた。帯広土木現業所、道開発コンサルタント(株)、道よりそれぞれ関係者が出席した。当協会からも、八木、石川、辻井、阿部、高畑、川辺、進藤、島田の八氏が出席した。

●四月十六日(金)

北洋相銀の大塚社長に監査を依頼。

●四月三十日(金)

常任理事会

出席者 八木、新妻、大山、狩野、長谷川。

議題

一、総会提出の議題について審議

二、十四日の件について協議(明日、道の道路課長あて要望書を提出することになった)

●五月一日(土)

道土木部道路課長あて要望書(次号に掲載)を会長が手交するとともに、写を帯広土木現業所、道開発コンサルタント(株)あて送付した。

●五月四日(火)

編集委員会

出席者 八木、新妻、辻井、山口。

会誌第二二号の編集について協議。

「湿原特集」とし、道内のみでなく、ひろく全国的なものとして取り上げることにした。

●五月四日(火)

故・坂本直行氏のお通夜が南郷斉場(札幌市)において挙行。

●五月五日(水)

故・坂本直行氏の告別式が前日の会場において挙行。

●五月六日(木)

選挙管理委員会

出席者 高畑、狩野、福地、浅井、颯子。

信任投票の開票を行った。総数三五五票、うち有効票数三四九票。立候補者と理事会推せん候補者の総数二十名は全員信任された。

●五月八日(土)

(財)日本自然保護協会の工藤父母道氏を迎え、本年度実施予定の自然観察指導員講習会の打合せを行った(本会よりの出席者 会長と事務局)。

●五月十日(月)

自然観察指導員講習会現地打合せ
中標津町養老牛において、工藤父母道氏と三浦二郎氏(養老牛小中学校長)、中標津町とで講習会の進め方について協議した。

●五月十二日(水)

編集委員会

出席者 八木、新妻、辻井、山口。

会誌第二二号の執筆者を選定し、それぞれの方に原稿を依頼することにした。

●五月十五日(土)

第八十七回理事会

出席者 八木、新妻、狩野、滝口、長谷川、田尻、新庄、山本

議題

一、五十六年度事業、収支決算報告

二、五十七年度事業、収支予算案

三、新入会員の承認

四、その他

●五月十五日(土)

通常総会

別記のとおり開催された。

昭和56年度収支決算書(56.4.1~57.3.31)

1. 一般会計

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|----------|-----------|----------|------------|
| 科目 | 決算額 | 科目 | 決算額 |
| 基本財産運用収入 | 129,500円 | 管理費 | 6,170,799円 |
| 基本財産利息収入 | 129,500 | 給料手当 | 4,014,250 |
| 会費収入 | 4,241,000 | 福利厚生費 | 470,667 |
| 個人会費収入 | 1,321,000 | 会議費 | 50,007 |
| 団体会費収入 | 2,920,000 | 旅費交通費 | 179,420 |
| 事業収入 | 1,244,750 | 通信運搬費 | 197,220 |
| 一般事業収入 | 1,244,750 | 消耗品費 | 115,755 |
| 寄付金収入 | 14,750 | 印刷製本費 | 16,000 |
| 寄付金収入 | 14,750 | 燃料水料 | 158,052 |
| 雑収入 | 283,174 | 光熱借料 | 54,198 |
| 受取利息 | 20,094 | 租税公課 | 855,120 |
| 雑収入 | 263,080 | 諸会費 | 14,000 |
| 繰入金収入 | 3,922,350 | 函書資料費 | 32,500 |
| 特別会計繰入金 | 3,922,350 | 支払手数料 | 10,000 |
| 前期繰越収支差額 | 1,127 | 雑費 | 2,450 |
| 前期繰越収支差額 | 1,127 | 一般事業費 | 1,160 |
| | | 独自調査事業費 | 2,819,089 |
| | | 繰入金支出 | 0 |
| | | 積立予金支出 | 400,000 |
| | | 減価償却積立予金 | 148,000 |
| | | 退職給与積立予金 | 0 |
| | | 次期繰越収支差額 | 148,000 |
| 合計 | 9,836,651 | 合計 | 298,763 |
| | | | 9,836,651 |

北海道自然保護協会

昭和五十七年度通常総会

昭和五十七年度の総会は、五月十五日(土)午後三時から札幌市教育文化会館で開催、五十六年度の事業ならびに収支

決算報告、五十七年度事業計画案ならびに収支予算が審議された結果、原案どおり承認された。

2. 特別会計

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|-----------|------------|------------|------------|
| 科目 | 決算額 | 科目 | 決算額 |
| 事業収入 | 円 | 事業支出 | 円 |
| 民間会社調査受託金 | 14,050,000 | 民間会社調査費 | 14,050,000 |
| 雑収入 | | 一般会計繰入金 | 10,140,000 |
| 受取利息 | 12,350 | その他一般会計繰入金 | 3,910,000 |
| 合計 | 14,062,350 | 合計 | 12,350 |
| | | | 14,062,350 |

なお、本年は役員改選の年であるが、新役員については、高畑選挙管理委員長より、信任投票の結果、全員信任された。また、総会に先立ちスライドを中心とした「バタゴニアの自然」と題する講演が、北大バタゴニア遠征隊員の小山西、島津徹の両氏によって一時間にわたって行われた。

総会における会長挨拶

会長 八木健三

当協会の昨年度の活動をふりかえりまず、まず第一にあげられるのが羊蹄山麓で行われた自然観察指導員講習会で、日本自然保護協会と共催し、道、道教育委員会、真狩村の後援をうけ、美しい自然の中で受講生も大いに勉強することができました。

会誌はさらに多くの方々に読んでいただくように二一号から「北海道の自然」と改題し、「火山特集号」を編集しましたが、これは内容も充実し、成功を収めました。二二号は「湿原特集号」を予定しております。

日高横断道路問題に関しては、十月の国定公園指定を機会に、知事に再考を要望しましたが、道路課長よりの回答は「予定通り建設を推進する」とのことであり、仄聞するところでは一九八二年夏より実測調査、八三年夏以降着工の予定とのことであります。

さて、唯今は一九七二年のストックホルムでの国連人間環境会議一〇周年を機会に、国連環境計画特別会議がアフリカのナイロビで開催され、一三〇ヶ国の代表が集まり、地球規模での環境保護に関する討論が行われております。とくに発展途上国における砂漠化の進行、森林破壊の拡大など、緊急を要する問題が多く、日本の責任も大きいと思われま。

北海道においても、日高横断道路計画をはじめ、各地の道路計画による自然環境破壊のおそれに対しては、その防止を

昭和57年度収支予算(57.4.1~58.3.31)

1. 一般会計

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|----------|-----------|----------|------------|
| 科目 | 予算額 | 科目 | 予算額 |
| 基本財産運用収入 | 109,300円 | 管理費 | 6,475,000円 |
| 基本財産利息収入 | 109,300 | 給料厚生当費 | 4,079,700 |
| 会費収入 | 4,300,000 | 福利厚生費 | 480,000 |
| 個人会費収入 | 1,350,000 | 会議費 | 50,000 |
| 団体会費収入 | 2,950,000 | 旅費交通費 | 250,000 |
| 事業収入 | 2,020,000 | 通信運搬費 | 250,000 |
| 一般事業収入 | 2,020,000 | 消耗品費 | 115,000 |
| 寄付金収入 | 30,000 | 印刷製本費 | 20,000 |
| 寄付金収入 | 30,000 | 燃料費 | 159,000 |
| 雑収入 | 119,937 | 光熱水料費 | 55,000 |
| 受取利息 | 19,937 | 賃借料 | 916,300 |
| 雑収入 | 100,000 | 租税公課 | 20,000 |
| 繰入金収入 | 3,000,000 | 諸会費 | 32,500 |
| 特別会計繰入金 | 3,000,000 | 図書資料費 | 10,000 |
| 前期繰越収支差額 | 298,763 | 支払手数料 | 2,500 |
| 前期繰越収支差額 | 298,763 | 雑費 | 35,000 |
| | | 一般事業費 | 2,539,000 |
| | | 独自調査事業費 | 100,000 |
| | | 繰入金支出 | 300,000 |
| | | 積立預金支出 | 464,000 |
| | | 減価償却積立預金 | 316,000 |
| | | 退職給与積立預金 | 148,000 |
| | | 次期繰越収支差額 | 0 |
| | | 次期繰越収支差額 | 0 |
| 合計 | 9,878,000 | 合計 | 9,878,000 |

はからなければなりません。士幌然別湖線道々については、当協会として調査した結果、「貴重な動植物保護の上から、東ヌブカウシヌブリ南麓、演習場との境界以外には道路は考えられない」との結論に達しました。

と称する道路がひそかに進められているようですが、これは砂洲やアカエゾマツ純林の破壊にとどまらず、風蓮湖の鳥の楽園にも大きなマイナスとなるものであり、その計画の撤回を希望します。

大雪縦貫道路問題についても、これが必然しないように注意してゆくことが必

2. 特別会計

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|--------|------------|---------|------------|
| 科目 | 予算額 | 科目 | 予算額 |
| 事業収入 | 円 | 事業支出 | 円 |
| 民間会社調査 | | 民間会社調査 | 10,000,000 |
| 受託金 | 10,000,000 | 調査費 | 7,000,000 |
| 雑収入 | | 一般会計繰入金 | 3,000,000 |
| 受取利息 | 0 | 雑収入 | |
| | | 一般会計繰入金 | 0 |
| 合計 | 10,000,000 | 合計 | 10,000,000 |

要でありましょう。最近原子力発電の環境に対する影響が大きな関心をひいていますが、発電はまた技術的にも問題が多く、環境汚染についても解決すべき点が多々あります。当協会としては「原発問題」に関するワーキング・グループをつくり、まず問題の

所在を明かにしたいと思っております。このように自然環境に関して種々の問題がありますが、最大の自然破壊は、戦争とくに核兵器による戦争であることは誰しく異論のないところであります。現在日本、ヨーロッパ、さらに米国にも澎湃としておこっている反核運動は、しのびよる核戦争を防止しようとする人びとの決意にねざす行動であります。会をささえるものは会員であり、その会員が増えることはご同慶に堪えません。ことにこのたび更科さん、田上さん、高倉さんを初め北海道の文化人名士多数が入会いただいたことは嬉しく思います。さらに会員の増加に努力いたしましょう。

しかし、協会創立以来の会員として、また理事として自然保護のために盡力して下さった坂本直行さんがさる五月二日逝去されたことは哀悼に堪えません。

以上のべましたように当協会としては、社団法人として順調に発展しつつありますが、財政面では苦しい面もございます。あるいは来年度より若干会費を値上げせざるを得なくなるかもしれませんが、その節はよろしくご協力願います。

本日は風薫るさわやかな五月晴れの下に、青葉若葉が陽に輝やいております。この恵まれた自然を私達の子や孫につたえてゆくように、ともに努力してまいりたいと存じます。

アフリカのサバンナ

門村 浩

アフリカの自然環境に関する国際共同研究を通じて、アフリカのサバンナを通して、サバンナというものについて考えてみたい。

サハラ砂漠の南には、さまざまなタイプのサバンナ景観がみられる。サバンナの定義はいろいろあるが、ここでは砂漠と森林の中間にみられる植生景観を総称してサバンナと呼ぶことにする。

サバンナゼーション(サバンナ化)は、砂漠化まではきびしくないが、地表面の乾燥化現象のひとつであり、気候の変動のほか人間活動の影響によっても起こる。

アフリカでは、森林に対する人間活動の影響が意外なほど大きく、ひどいところでは、赤道森林の限界が自然状態よりも二〇〇kmも後退している。森林の後退した跡には、河畔林だけが残るサバンナになつているところが多い。

高緯度地帯の水河期の寒冷期には、サハラ砂漠が南に拡大し、現在の森林地帯は乾燥して広くサバンナ化し、逆に後水期のはじめには今よりも雨が多くなつて森林が拡大した時期のあつたことが、最近の研究によりはつきりしてきた。

カメルーンでみる限り、サバンナ地帯は長い間の過放牧と火入れの繰り返して土地が著しく荒れている。人口も少なく、

農業もほとんど行われていない。ところが、もつと乾燥したステップに行くくと、かえって農耕がさかんで、水用耕作や落花生、綿の栽培も行われている。

甲 辞

ソウなど大型の野生動物の多いところは、植生景観的にはサバンナではなくアカシアなどの目立つツッシュランド(乾燥かん木林)である。東アフリカの自然公園は、そのような景観のところにあるが、ソウなどの過集中のためか、次第に木本が少なくなつており、草原へ移行しているところもあるようだ(註・前号の原稿は、事務局なりに先生の講演を要約したので、不備の点が多々ありました。それらを明確にするために、先生に書いていただきました)。

坂本直行・作者

本協会会員、坂本直行氏は去る五月二日、スイ臓ガンのため逝去された。同氏は本協会創立以来の会員で、自然のみを師として独自の画壇を開いた山岳画家として会員のみならず、多くの人に感動を与え、四十九年には道文化賞の栄にも輝いた。

坂本直行さん、生きて語りかけるようなあなたの温容を前にしている、万感こもも湧き起こるのを、おさえることができません。通じて自然をもつともよく理解され、自然の美しさをつづつてこられた坂本さんは、その生活と芸術と協会の創立とともに会員として活躍され、北海道自然保護協会の創立に大いに貢献されたこと、大宮の自然を守る会代表として道路建設の反対運動の先頭に立ち、最近日高山脈保護協会の計画を中止せしめたこと、北海道自然保護協会の創立に力強い支援を与えられたこと、日高山脈を守ろうという熱意が、北海道自然保護協会の活動の中心となつてきたこと、忘れることができません。毎年、直行さんの山岳カレンダーの全収録をあげて、この運動のために充当されたことにも、その熱意をうかがうことができて、うれしく思います。

昭和五十七年七月十五日発行
〇六〇 札幌市中央区北一条西七丁目 広井ビル五階
発行所 北海道自然保護協会
電話 (〇一一) 二六一六五六(代)
(〇一一) 二五二一五四六四(直)
郵便振替口座小樽 四〇五五
北海道拓殖銀行本店 〇七五五九
北海道銀行本店 〇一四四四〇
発行人 八木健三
印刷 札幌印刷株式会社

お知らせコーナー

◆北海道自然観察指導員講習会の開催
主催 (財) 日本自然保護協会、本協会
後援 北海道、道教育委員会、中標津町
期日 七月三十一日(八月二日)(泊三日)
場所 養老牛青年の家(中標津町)
講師 三島次郎・筑波大学講師外五名
参加資格 二〇歳以上
募集人員 六〇名(道内五道外五)
参加費用 一〇、〇〇〇円(主催協会員は八、五〇〇円)
締め切り 七月二〇日(月)
申込方法 返信用封筒同封の上、住所、氏名、電話、年令、性別、所属団体、主催協会の会員が非会員か、自然観察会などへの参加経験の有無を明記して応募
その他 受講終了者には「自然観察指導員」のライセンスが交付される。